



しんじ新聞

No. **185** いつもありがとうございます
 2011年7月
品川区議会議員
無所属
高橋 しんじ



※毎週、区政や区内の出来事についてご報告しています



☆☆ 品川区イス ☆☆

◇品川区、防災ヘルメット無償配布◇
 品川区は、大規模地震発生時の身の安全確保のためにヘルメットを無償で配る。そのための購入費等を23年度一般会計補正予算に計上した。次のうち配布されない対象を2つ選んでください。



- ① 区立小学生
- ② 区立中学生
- ③ 区内の高校生
- ④ 民生委員

本会議開会①



6月23、24日に23年度第2回定例会本会議が開催されました。各会派1～2人(計9人、各20分)の議員が一般質問をしました。今回は、私は、質問の順番ではありませんでしたので、すべて他の議員の質問です。今号と次号でその一部をご報告します。Q:議員の質問 A:区側の答弁 ☆私のコメント

質疑・応答



《今号は東日本大震災と区の防災対策に関する質疑特集です》

【区長の大震災への感想】

Q:震災時相互援助協定を結んでいる宮古市と富岡町に行った時の区長の感想は。

A:見たことのない自然の力を見て絶句した。市長の奮闘ぶりに感心した。

【大井競馬場・しながわ区民公園】

Q:広域避難場所として適切か。海の方へ逃げるというのは危険ではないのか。

A:津波・液状化等に対して、安全は、ほぼ確保されているが、必要に応じて総合的な観点から対策を検討していく。



【津波・高潮対策】

Q:品川区の津波・高潮対策は。

A:今回の地震による津波は、東京湾最大で1.5m(晴海)。被害の大きかった伊勢湾台風級(満潮時の高潮約4m)の高潮に対応できるように東京都が勝島・京浜運河に防潮堤を設置し整備済み。その結果、立会川河口の一部を除き安全は確保している。ここは、護岸が低く被害が予想されるが、都の防潮堤整備はかなり時間がかかるので、地域の方へは、警戒・避難体制の充実を図る。

☆避難対策を万全にするよう要望します。

【災害時の要援護者支援体制】

Q:援護が必要であったり、障害を持っている方がリストに登録されておらず、把握されていない。今回の大震災では、このような方々の救出に時間がかかったと聞くが。区の考えは。

A:登録者は2,997人(23年6月現在)。ただし、このリストは、本人の申し出がないと登録できず、要援護者を誰が支援するかなどの点を含め、町会長、警察、消防署が持っているが、プライバシーの問題もあり、公開できない。今後、検討していきたい。

☆現在、モデル地区(3町会)で、誰が援護するか等を記載した『要援護者個人カード』を作成するというモデル事業を実施しています。その結果を施策に活かす予定です。



高橋しんじプロフィール

平成23年4月5,232票のご支持をいただき、現在2期目。若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早実高、早大(政経学部政治学科 専攻は地方行政)・同大学院博士課程で学ぶ。東大研究員、塾などを経て、教師(早実高、都立日比谷高・青山高・大森高)。軟式野球ルーキーズ監督。平成19年4月、無所属・新人として初当選(2541票)

『議員力検定1級』(22年12月合格)

☆初心を忘れずにガンバります!

しがらみのない無所属



高橋しんじ事務所

東京都品川区東大井4-13-11-304 〒140-0011
 TEL:03-5461-8757 FAX:03-5461-8763

E-mail: takahashi-shinji@spa.nifty.com

ホームページ: [品川区 高橋しんじ](#) 検索

☆過去の『区政報告』がHPでご覧になれます。

☆『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。

☆『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。

無所属 品川 区政報告

No.185 2011年 7月

発行所 品川区議会 無所属 品川
発行者 高橋慎司
〒140-8715 品川区広町 2-1-36 5階
Tel 03-5742-6816 Fax 03-3772-8878

☆区政へのご要望をお寄せ下さい!!
☆ご希望の方に「区政報告」をお届け(郵送他)いたします。ご連絡ください。

ちょっとした話ながわ

◇品川区が節電コンテスト実施◇



夏の電力不足に向け、区内の一般家庭向けに実施する。7~9月に前年と比べ電力使用量を20%以上減らすことができた家庭が対象。各世帯に届く電気使用量のコピ-があれば毎月応募でき、区共通商品券などが参加賞としても

らえる。さらに3ヶ月の総計で、節電ランクをつけ上位20世帯には優秀賞も贈られる。応募期間=8~10月 ◎予算額735万円
詳細⇒ホームページ、環境課 5742-6755



本会議の質疑



質疑・応答

【帰宅困難者への対応】

Q: 今回の区への対応と今後の方針は。

A: 3/11、きゅりあん、総合体育館等6ヶ所で計1532名受入れた。東京都の支援計画の動向を見ながら、『品川区地域防災計画』の見直しの中で検討していく。

☆通勤されている区民の皆さんは、勤務先からご自宅までの徒歩の帰宅ルートと通過する自治体の帰宅困難者の受入れ施設をご確認ください! また、品川区内の受入れ施設も知っておくと帰宅途中に利用できます。

ところで、3/11にシャッターを閉めて集まった通勤客を締め出したJR大井町駅は、「今回の件を反省し、新たなマニュアルを作成し、区と協議します」と言っています。

【高齢者・障害者への救急情報キット提供】

Q: 災害時にも役立つので、緊急連絡先、かかりつけ医、服用薬等を記載した救急情報キットの配布を。港区は、すでに実施している。

A: 緊急時に大変役立つと理解している。町会活動の一環として区でも支援していく。

☆現在、区で統一的なキットを作り、8月から町会単位で購入(有償)できるように準備中です。地域の高齢者をどう見守るか、大変重要な問題です。地域(町会・自治会)で支える様々な仕組み整備を早急に!



【区からの災害情報発信】

Q: ①防災無線屋外スピーカーの改善を。また、聞き取りにくいので他の通信手段も行うべきである。

②室内でも聞こえるように防災ラジオ(個別受信機)を区民へ提供を。

③メールによる災害情報発信をすべき。④区立小中学校では、保護者用メール配信システムがある。区立幼稚園・保育園でもシステム導入を。

A: ①22年度中に老朽化したものは交換した。23年度は聞き取りやすいようにプロのアナウンサーの声で録音する。②メリットはあるが、コスト面(一台数万円)や対象者、機器の研究をし、慎重な検討が必要である。③計画停電などの災害関連情報は、すでに配信済み。④従来の固定電話・携帯電話による連絡に加えて、メール配信・NTTの災害用伝言ダイヤル等、複数の手段により確実に伝えられるように検討する。

【緊急時の児童下校】

Q: 区立小学校では、保護者の引き取りによる児童の下校の徹底を。今回の地震では、学校ごとに対応が異なって混乱した。

A: 今後、このような事態では、全ての学校において保護者の引き取りを義務とする。

【被災地へのボランティア派遣】

Q: 区で区内希望者の活動・派遣の支援を。

A: 東京都の社会福祉協議会が窓口となっている。区の社会福祉協議会は、問い合わせに対応している。

☆区民の方々のボランティア希望者も多く、また、仕組み作りの貴重な機会なので区として具体的な取り組みをすべきです。いざというときに対応できません。活動支援への熱意が足りません!



クイズの答え: ①③ 小学生には、防災ずきんがあります。対象は②④。中学生へは、防護目的のほか、災害時に高齢者搬送などの活動に携わることも期待しています。民生委員322人にも無償提供します。(参考: 6/16 東京新聞)

